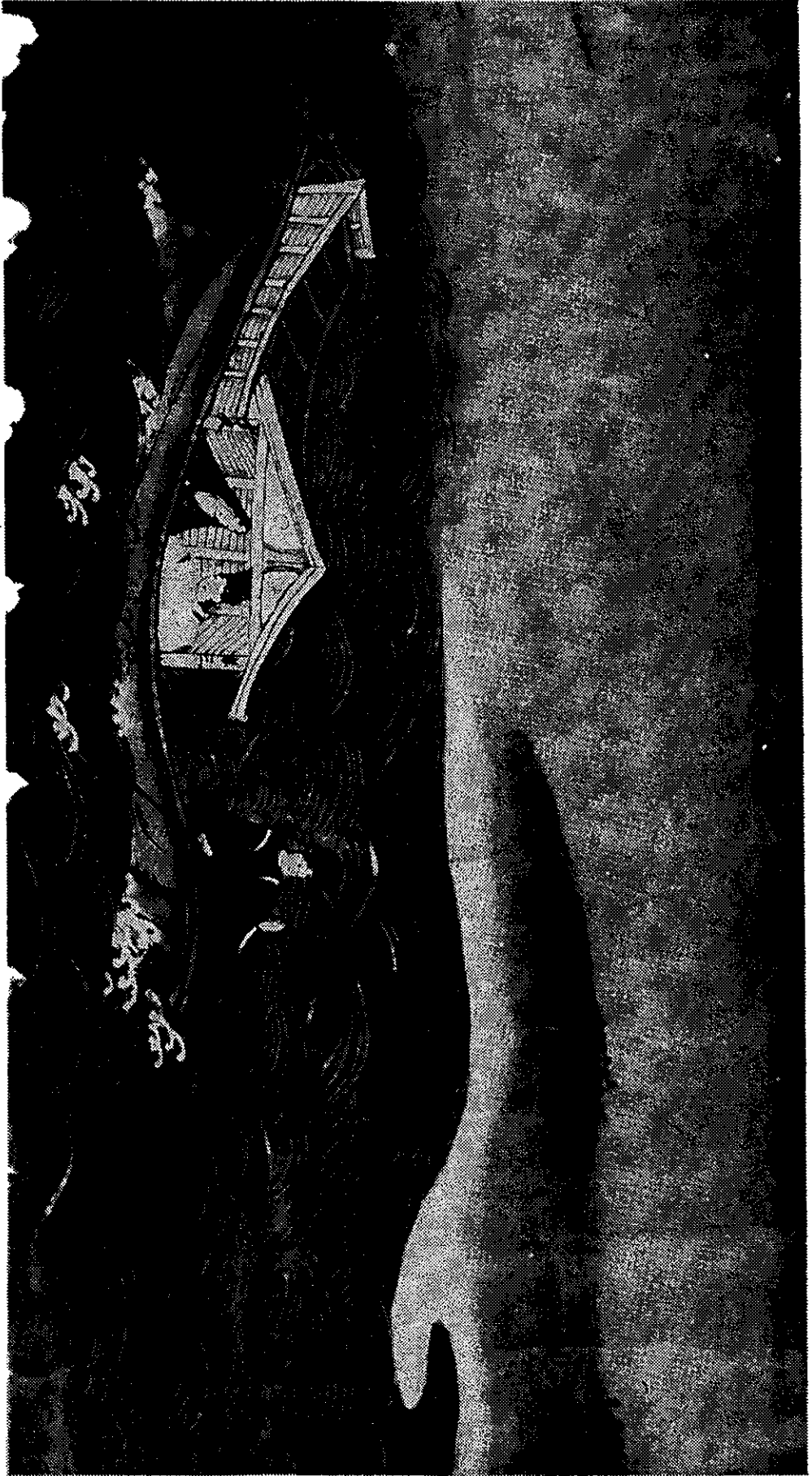


国文学研究資料館特別展示目録 四

—日本の絵本 ならびに版本の挿絵—



うたたねの草紙 (P. 1 6)

国文学研究資料館は設立の趣旨に沿って日本古典籍とその研究を普及するために展示（一般公開）を行ってきました。昭和五二年の開館以降、特別展示——当館の貴重書、寄託書、他の所蔵者からの出品を中心とし、期間は一週間——を三回、常設展示——当館蔵書（複製本を含む）を展示、期間は二ヶ月——を四回開催しています。

今回は「日本の絵本——ならびに版本の挿絵」（特別展示）という主題で、当館蔵書中より選り、絵本の流れが分る様に展示しました。先ず絵画そのもの、また絵と文章との関係、造本など鑑賞して戴ければ幸甚です。

昭和五四年八月二〇日

〔奈良絵本・絵巻〕

1 しつか 奈良絵本貼付屏風六曲一双。縦八四・四、横二五七・七（一隻）二五八・七（二隻）。江戸初期写。幸若舞曲「しつか」を奈良絵本としたものを切つて屏風に貼付したもの。本文は、『国文学研究資料館紀要』第四号。

昭53・3）に村上學助教により翻刻されている。96 17

2 しつか 奈良絵本。縦二九・八、横二一・五。二冊。表紙、紺地に金泥草模様、中央に朱題箋、墨書で「しつか上（下）」とある。江戸前期写。各冊七図の絵入。用紙にも金泥草模様。99 17と同じく幸若舞曲を奈良絵本にしたものであるが、本文は、大頭左兵衛本の系統であり、笹野堅篇『幸若舞曲集』所収のものに略一致する。99 32

3 紫式部日記絵巻 一軸。複製本（日本古典文学会）。ヨ 1 48

4 絵師草子 一軸。御物本の複製本（大塚巧芸社）。ヨ 1 22

5 八幡宮縁起 絵巻。縦二七・五、全長一三八九・二。一軸。文正元（一四六六）年写、九図。奥書に「奉寄附／大日本国周防国吉敷郡□□□（貼紙に「吉敷郡秋穂郷」とある）／今八幡大菩薩御宝殿者也施主心中／求願一々皆令満足故也／于時文正元年丙辰十二月施主敬白」とあり、現存する八幡宮縁起の絵巻では、書写の確定できる貴重な材料である。本文は享祿四年（一五三一）絵巻（『神道物語集』所収）と同類。99 29

6 うたたねの草紙 絵巻。縦一五・三、全長六七三・一。一軸。室町時代後期写。四図。箱書に「夢草紙 詞書 宗祇法師 光信画」とあるが、もとより信ずるに足りない。旧蔵者のものと思しい簡略な解説が、別紙として添えられている。

この絵巻は室町時代之作にして作者竝に筆者を明かにせず一説に飛鳥井大納言雅親卿の作となすも確証なし小野小町之歌によりて筆を起したる恋物語にして転寝之夢よりはしまりて後に石山観音之利生によりてたく夫婦と

なりて末栄ゆる顛末を絵巻とせしものなり既に古くより世に知られて近古小説解題にも載せられたと特にこの巻は頗る古寂たる上に画文よく整い室町季世の物語草子の特色を示せるは至珍となすへし

昭和十七年中秋

上田 秋兵衛（尾張宿祢の朱印）

また、本書は『室町時代物語大成』巻二に翻刻された『うたゝねの草子』に対校本として用いられたものと判断され、「編者（注 横山重、松本隆信の両氏）はかつて次のような絵巻を一見した。○うたゝね 室町末期絵巻一軸」（『室町時代物語大成』巻二、同書解題）と同一と思われる。99 30

7 さゝやき竹 奈良絵本。縦一六・九、横二四・三。三冊。表紙、紺地に金泥草模様雲引。中央に朱題箋。墨書で「さゝやき竹上（中下）」とある。江戸初期写。各冊六図の絵入。破戒僧の失敗談で滑稽的要素を含むきはめて素朴な（『未刊中世小説解題』）作品である。猶、本書は、『室町時代物語大成』第六巻に翻刻された赤木文庫旧蔵174の原本と思われる。99 31

8 からいと 奈良絵本。縦二九・八横二一・六。二冊。表紙、紺地に金泥模様、中央に朱題箋、墨書で「からいと上（下）」とある。江戸前期写。各冊六図の絵入。用紙にも金泥草模様。内容は御伽草子二十三冊中の一つに拠っており、本文は版本の写し、絵柄も版本に類似する。99 14

〔丹緑本〕

9 竹生島の本地 一冊。古活字丹緑本の複製本。横山重氏蔵。『室町時代小説集』に翻刻されている。（日本古典文学会）。4
チ 172

10 ゆりわか大臣 一冊四八丁。縦二六・八、横一八・四。舞の本三十六番中の一。本書の表紙は改装になり中央に朱で丹緑本、黒で「百合わか大臣 全」の題箋を付す。巻首に「ゆりわか大臣」、柱に「百わか」とある。又、若

干の裏打ちがある。本書は、小田家の寄託本であり、付されている川瀬一馬氏の小田保夫氏宛の書簡も本書が「寛永の古活字覆刻整版本」であることを指摘している。

猶、99 17（しつか）、99 29（八幡宮縁起）、99 14（からいと）は、「国文学研究資料館開館特別展示」にも出品されたものである。同展示目録をも参照されたい。

〔近世版本の挿絵〕

11 嶋原記 大 三卷三冊 4
ナ 4

仮名草子。書題箋「嶋原根元記」

12 伽婢子 大 一三卷七冊 一冊（一〇、一一卷）欠 4
ナ 141

仮名草子。浅井了意著。題箋「御伽はうこ」 序「于時寛文六年丙午正月日 瓢水子松雲処士自序」 序「寛文六年竜集丙午正月下幹 雲推」 刊記「文政九年丙戌正月補刻 書林 前川六左衛門 丁子屋平兵衛」 蔵書印「南葵文庫」

13 繪本徒然草 大 三冊 5
タ 63

序「元文戊午のとし冬洛陽文花堂」 卷尾に「皇都画工文華堂 西川祐信（印）」とあり。刊記「元文五年申正月吉日 京寺町通松原下ル町 書林菊屋喜兵衛版」

14 繪本徒然草 大 三冊 5
タ 66

題箋・扉「繪本徒然草 祐信画鑑」 明治版。

15 本朝諸士百家記 前集 大 一〇卷三冊 4
ナ 62

浮世草子。錦文流著。扉「近来正説聞書 前集／本朝諸士百家記／浪華書林 松寿堂蔵版」 自序「本朝諸士百
家記序……于時宝永第五乃天孟春中旬浪華津詠諧僧文流撰之」

16 小夜嵐 半 一〇卷一〇冊 ナ 4 54

浮世草子。題箋「小夜嵐物語」 刊記「三都発行書肆 江戸、岡田屋嘉七、須原屋伊八、山城屋佐兵衛、須原屋
茂兵衛、京 勝村治右衛門、大坂 秋田屋太右衛門」

〔江戸小説の挿絵〕

17 武王軍談 卷九、卷十 半 一冊 ナ 4 74

黄表紙。曲亭馬琴作、北尾紅翠斎（重政）画。刊記「文化三丙寅載春王正月 御江戸常磐橋御門本町筋下ル八丁
目通油町 書林僊鶴堂鶴屋喜右衛門版」 蔵書印「青洲文庫」

18 秋色艶麗処女七種 中 初編一七編（各編上中下三卷） 七冊 ナ 4 149

人情本。初一五編、狂訓亭為永春水作。六、七編、梅亭金鷲著、溪斎英泉画。初編序「天保七申の初秋 桃林亭
太疏」 五編下巻の巻末に「東都書林 小伝馬町三丁目文溪堂丁子屋平兵衛板」とあり。

19 春色梅美婦禰 中 二編（巻之四一六）、四編（巻之十一十二）、五編（巻之十三一十五）、三冊 ナ 4 156

人情本。為永春水作。題箋「梅美婦祢」 「梅見廻船」

20 滑稽五十三駅 中 二三冊 ナ 4 162

滑稽本。十返舎一九作、画。題箋「東海道中膝栗毛」 扉「東海道中滑稽膝栗毛／十返舎一九作画」

21 雲妙間雨夜月 半 五卷六冊 ナ 4 9

くものたえまぢまよのつき

読本。曲亭馬琴作、歌川豊広画。表紙見返し「曲亭主人著 戊辰全本五冊／雲妙間雨夜月／新鵲 柏榮堂蔵 一
柳斎豊廣画」 刊記「文化五年戊辰正月吉日発販 江戸 神田通錦町 柏屋半蔵（他）」

22 茶番頓智論 中 一冊 ナ 4 84

滑稽本。菊莊、青梧等画。廓遊舎蔵。序は「紫道人」、「窓月」。蔵書印「青洲文庫」

23 茶店墨江草紙 半 八卷九冊 ナ 4 26

読本。栗杖亭鬼卯作、浅山あし洲画。表紙見返しに「栗杖亭鬼卯校 浅山あし洲画／茶店墨江草紙／書肆 狂画
堂 松庇閣梓」とあり。扉「復仇奇談住江草紙」 卷尾（卷之八）に出版広告「○絵本蔵版目次 皇都書林三条街
吉野屋仁兵衛」あり。

24 花江戸客者評判記 横中 三卷三冊 ナ 4 227

滑稽本。式亭三馬作。題箋「三芝居 客者評判記」上卷十一丁裏に「文政六ひつじの春再板 作者三馬」とあり。

25 絵本一休噺 半 五卷五冊 ナ 4 157

読本。

26 一休諸国物語図絵 大 五卷五冊、拾遺二冊 ナ 4 16

読本。平田止水著、菱川清春画。表紙見返し「慶応乙丑補刻／平田止水居士輯 源基定補正／一休諸国物語図会
全部／五書堂合梓」卷尾（卷五）に「平田止水居士輯 源基定補正 菱川清春画」 刊記「天保七丙申年正月新刻
慶応元乙丑年十月補刻 発兌書林 大阪心斎橋通本町東入 河内屋真七（他）」

27 近世怪談霜夜星 半 五卷五冊 ナ 4 47

読本。柳亭種彦作、葛飾北斎画。巻尾（巻五）に「かつしか北斎画 柳亭種彦作」とあり。刊記「文化五年戊辰

春正月吉日 書林 皇都植村藤右衛門 浪華河内屋太助 東都若林清兵衛 山崎平八」

28 繪本時世粧えほんいまよすがた 半 乾坤二冊中の乾 小田家寄託書

繪本。初代歌川豊国画、式亭三馬閱。「……こゝにもものせる時世粧イマヨウスカタてふふみは、たときよりいやしきまで、あるとある女メナのかたち、よしあしのさまを、空みつやまと画にうつし、とりかなくあつま錦ニシキに、すり出たる物にそありける……」（式亭三馬序）とある。刊記「享和二稔壬戌春王正月発兌／芝神明前三島町 東都書林 甘泉堂和泉屋 市兵衛蔵版」

〔狂歌繪本〕

29 狂歌桧葉集 半 春カ、夏、秋キ、冬、恋之部 七冊 2 47

松園梅明撰。

30 手毎の花 中 一卷一冊 2 177

文の屋茂喬編。琦鳳、応震、白瑛、秀成、等画。序「賀茂季鷹」。序「文化九かへりの春 文の屋茂喬しるす」。

刊記「文化九年申正月刻成 皇都書肆 三条通柳馬場ニ入北側 吉田屋新兵衛」

31 蜀山人狂歌図会 小 一卷一冊 2 30

大田南畝詠、歌川貞房画。題箋「蜀山人狂歌図会 初編全」。扉「蜀山人／狂歌図会 全／芸香堂」。刊記「書林

江戸両国米沢町 釜屋又兵衛 大坂心齋橋筋順慶町 柏原屋儀兵衛」

32 狂歌百人一首 半 一卷一冊 2 46

荻屋音信撰、柳川重信画。序「……時は天保十とせきさらきつきたちの日かくいふは荻の屋のあるし神風音信、

扉に「萩の屋撰 狂歌百人一首 伊勢津万代廼屋 日枝屋興信」、扉裏に「萩屋音信大人撰 柳川重信大人画 狂歌百人一首 伊勢浜萩連蔵」とあり。

33 波津加蛭子 半 二卷二冊 ナ 240

六樹園宿屋飯盛撰、一九、一向舎画。序「……宿屋飯盛しるす」 卷尾に出版目録「江都書林衆星閣蔵板目録 麴町平川町二丁目書物問屋 角丸屋甚助」あり。

〔赤本・黒本・黄表紙〕

34 枯木花さかせ親仁 中 一冊 = 4212

赤本。複製本。

35 ねこ鼠大友真鳥 中 一冊 = 4164

赤本。近藤清春画。水谷不倒氏蔵本の複製本。

36 文福茶釜 中 一冊 = 4159

赤本。近藤清春画。若樹文庫蔵本の複製本。

37 丹波爺打栗 中 三冊 = 4313

黒本。東洋文庫蔵本の複製本。

38 金々先生栄華夢 中 二冊 = 4158

黄表紙。恋川春町作、画。水谷不倒氏蔵本の複製本。

39 人間一生胸算用 中 中下二卷（上巻欠）二冊 ナ 483

黄表紙。山東京伝作、画。寛政三年刊。絵題箋（下巻）「京伝戯作 通油町蔦屋板 亥春新調 悪魂後編 人間

一生胸算用 下」 下巻尾（一五丁裏）に「京伝戯作 自画」とあり。

40 九替十年色地獄 中 上下二巻（中巻欠）二冊 ナ 4 123

黄表紙。山東京伝作、鳥居清長画。寛政三年、鶴屋刊。序「狂伝和尚／廓中法語 九替十年色地獄自序……寛政みつ亥の春 山東京伝述」 上巻第一丁表上欄に鶴屋の商標あり。下巻尾（一五丁裏）に「京伝戯作 清長画」とあり。

41 江戸生艶気樺焼 中 三冊 = 4 289

黄表紙。山東京伝作、画。複製本。

〔合巻〕

42 敵討安達太郎山 中 一卷一冊 ナ 4 142

合巻。式亭三馬作、歌川豊広画。文化三年刊。第一丁表に「三馬著述当春新版書目」があつて、「西宮開版」「復讐安達太郎山 全部五冊」「敵討安達太郎山 五冊 豊広画」など記載あり。全二五丁（五冊もの）のうち、一二丁、二五丁を欠く。蔵書印「南葵文庫」あり。

43 兄弟丸蒔絵文箱 中 三巻三冊（全三十丁） ナ 4 86

合巻。墨川亭雪麿作、国貞画。天保一二年、山本平吉刊。序「……天保十二辛丑年孟春発行 墨川亭雪麿」 巻尾（第三〇丁裏）「香蝶楼国貞画墨川亭雪麿作」 裏表紙見返し、出版広告に「天保十二辛丑孟春新稗史 地本錦絵問屋江戸よし町親仁橋角 栄久堂山本平吉版」とあり。

44 兩個孀姿 嫩 後編（前編欠） 一卷一冊 ナ 4 130

合巻。墨川亭雪麿作、歌川国直画。表紙「姿の嫩 全部六冊 雪麿作 国直画」 表紙裏「兩個孀後編 癸未新

板碑史 雪麿作 国直画 山本 江戸よし町親仁橋」 卷尾「墨川亭雪麿編」

45 修紫田舎源氏 中 初編―三八編（各編上下二冊―二〇丁―合一冊） ナ 4 229

合巻。柳亭種彦作、歌川国貞画。文政二―三天保一三年、鶴屋喜右衛門刊。（初編―五編は天保三年の再板）

46 北雪時代加々見 中 初編―三四編（各編上下二冊―二〇丁） ナ 4 40

美談。合巻。為永春水（二世）作、歌川国貞（二世）等画。嘉永八―元治元年、若狭屋与市等刊。

47 白縫譚 中 初編―六七編（五九、六〇編欠）、各編上下二冊（二〇丁）、二編を一冊に合本、三三冊 ナ 4 122

合巻。柳下亭種員、柳亭種彦（二世）、流水亭種清作、歌川豊国、歌川国貞（二世）、一恵斎芳幾画。嘉永二年―明治一四年、藏岡屋慶次郎、柳下亭、広岡屋幸助等刊。蔵書印「青洲文庫」

〔稿本と版本〕

48 忠臣蔵替伊呂波（合巻）の稿本 中 三冊 ナ 4 216

墨川亭雪麿作。合巻『忠臣蔵替伊呂波』は墨川亭雪麿作、歌川（香蝶楼）国貞画で初編は天保四年刊、以下九編（天保一三年刊）まで刊行された。その第五編、第八編、第九編の稿本である。

49 正本製 中 各二冊 ナ 4 312

合巻。柳亭種彦作、歌川国貞画。日本古典文学会蔵稿本及び鈴木重三氏蔵版本の複製。

50 南総里見八犬伝（第八輯卷一）一冊 ナ 4 229

曲亭馬琴作稿本の複製（稀書複製会）。

51 南総里見八犬伝 第八輯卷一 一冊 ナ 4 14

読本。曲亭馬琴作、柳川重信画。天保三年如月自序、天保四年癸巳春正月発行。版元 江戸小伝馬町三丁目 丁 9

子屋平兵衛他。

〔明治合卷〕

52 夜嵐於衣花廼仇夢 よあらしおきぬはなのあだゆめ 中 初編—五編、五冊 ハ 4 17

合卷。芳川俊雄閱、岡本勘造綴、永島孟齋画。明治一一年六月—一二月、辻岡文助刊。

53 沢村田之助曙草紙 さわむらたのすけあけぼのぞうし 中 初編—五編、五冊 ハ 4 7

合卷。芳川春濤閱、岡本起泉綴、揚洲周延画。明治一三年七月—一二月、綱嶋龜吉刊。

〔明治期の滑稽本〕

54 西洋道中膝栗毛 中 二四冊 ハ 4 1

滑稽本。仮名垣魯文、総生寛作、一惠齋芳幾、立齋広重等画。角書「万国航海」。明治三—七年、万笈閣刊。

55 安愚楽鍋 あぐらなべ 中 五冊 ハ 4 4

滑稽本。仮名垣魯文、一惠齋芳幾、惺々暁齋画。角書「牛店雑談」、別名「奴論建」明治四—五年、誠之堂刊。